

ONCC 関西の城探訪科「第6回目」大山崎 探訪

好天に恵まれた初秋の探訪先が近くの大山崎となり、36名（不参加7名）の参加者で、阪急大山崎駅前が集合場所となりました。



阪急大山崎駅前集合地点

午前10時集合時間に参加者が集まり、ガイドの皆さんとのお挨拶と顔合わせがあり「3班・4班グループ」



大山崎ふるさとボランティアガイドの皆さん



瓦窯跡公園で説明中の3班担当森脇剛ガイドさん

そして「2班・1班グループ」の2グループとして、ガイドさん先導で第一の目的地大山崎瓦窯跡公園に向かいました。この瓦窯は、8世紀末から9世紀前半に平安京造営に必要な瓦を生産され、「大山崎瓦窯跡」と呼ばれ国史跡に指定されております。

窯跡展望台北側の観音寺（聖天神社）目指して登山道をゆく。





大山崎観音寺

大山崎観音寺は、寺伝によれば江戸時代初期木食上人以空が、この地にあった聖徳太子作と伝えられる十一面観世音菩薩像を本尊とし中興開山をしました。



大山崎観音寺光明殿

仁和寺より移築され俗油堂といい
大正 13 年迄浴油供が行われた場所



大山崎聖天さん山門 阿吽の像

午前中の見学スケジュールは山門を降りた所で各班集合して、大山崎駅周辺で昼食・休憩時間となりました。各班適当な場所で昼食・休憩後、13時に駅前に集合をして、午後14時迄ガイドさんの先導で大阪府・京都府の境界を見て回り、関大明神社から離宮八幡宮へと見学いたします。



京都府・大阪府の境界（JR大山崎駅ホーム下）



トンネル内部（道横に山より流れるは水路）

午後3時に各班共阪急大山崎駅前に集合、各班全員確認の上ガイドさんの先導で妙喜庵へ

国宝の茶室で知られる「待庵」は連歌師、山崎宗鑑の屋敷跡で宗鑑退去跡（1524年頃）寺庵に改められたとの説もあり、現存では日本最古の茶室で千利休作と唯一信じ得るものである。

妙喜庵を通過後 J R大山崎北側に回り、サントリー工場手前谷あいのトンネルが境界線となる。



関大明神社



境界のトンネルを出た所が西国街道で、是より東は京都府西は大阪府となる。

この地は天王山と淀川に挟まれ、古くは山崎橋も存在し交通の要所として関所が設置され「関戸院」
関大明神社は鎮守社であったといわれる。

そして本日最後の見学場所は離宮八幡宮であります。

貞鑑元年（860年）大和大安寺の僧、行教が豊前宇佐八幡宮の分祀を受け嵯峨天皇が営んだ河陽（かや）離宮に
鎮座させたことに始まり、平安時代の末に当地で荏胡麻（えごま）生産が活発化し油座が結成し神社が
座の会所となり大いに繁栄をした。以上はガイドさんの説明等を元に本日の行程を綴りました。

以上